



晴嵐幼稚園だより <地域版>
おおきくなぁ~れ

地域版NO.7
 R5年12月

大津市立晴嵐幼稚園
 園長 平尾かなめ
 大津市鳥居川町 15-22
 ☎・FAX 537-1578
 Otsu2714@city.otsu.lg.jp

晴嵐幼稚園の教育目標

- 3つの「あ」
- あいさつのできる子ども
- あきらめない子ども
- あいてのことも考えられる子ども



花屋の店先に並ぶポインセチアやシクラメンの赤色が目に鮮やかな季節となりました。園庭の木の葉はすっかり散ってしまいましたが、絨毯のような木の葉の上に寝転がったり、両手いっぱい抱え雪のように散らしたり、足で踏みしめるとカサコソと鳴る音を楽しんだり…季節を感じながら元気いっぱい遊んでいる子どもたちです。

保育室からは♪もういくつ寝るとお正月〜♪と歌声も聞こえてきます。なんとなく気忙しい毎日で、一日が過ぎるのがあつという間ですが、こんな時こそ落ち着いて子どもたちと向き合いながら毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。

地域で交流できる幸せ

『晴嵐幼稚園こども展（作品展）』と、晴嵐支所で開催されました『第15回晴嵐学区幼稚園・保育園に通う5歳児作品特別展』には保護者、地域の皆様に多数ご来場いただき、ありがとうございました。晴嵐学区ならではの地域ぐるみでの「幼保連携の機会」をいただき本当にありがたく思っています。

また11月末には、地域にある全ての幼稚園・保育園・子ども園の5歳児（144名）が集う8園交流を本園の園庭で行いました。



まずはアイスブレイクに手遊びをして…

「（地域には）こんなにたくさんの友達がいるんだ…。」と初めはドキドキしていた子どもたちでしたが、すぐ仲良くなり、一緒に手遊びやリレーを楽しみました。小学校の校長先生にも「小学校で待ってますよ」と言われ、とっても嬉しそうな表情でした。

5歳児にとって入学前のよい交流になりました。これからも多くの人やものにふれて心を動かし世界をどんどん広げていって欲しいと願っています。

**木のお医者さんに
 みてもらいました**



園庭の築山にある大木が何かの拍子に倒れないか心配だとのお声を地域の方からいただき、早速、専門の造園業の方に見ていただきました。

樹齢90年余りということで、今年86歳の晴嵐幼稚園ですから、開園の頃から幼稚園と共にあり、子どもたちを見守ってくれていたことが分かりました。この木は『エノキ』という種類で、根っこが下に下に伸びていくタイプの木だそうです。しっかりと根付いていて、簡単に倒れることはないだろうと教えていただき、ひとまず安心したところです。

遊びにも使える木の実や葉っぱを蓄え、暑い時には影を作り、木枯らしの吹く時は冷たい風を遮ってくれる…そんな大木を幼稚園のシンボルとしてこれからも大切にしていきたいと改めて感じています。



地面の下はどんな風になっているのかな…と子どもたちと話をしながら描きました。

園児作



裏面もご覧ください